



SPACE No.34

日本臨床心理身体運動学会会報第 34 号 2017 年 10 月 17 日

編集発行 日本臨床心理身体運動学会 会長 山中康裕

第 19 回大会を振り返って

中込四郎（国士館大学）

昨年の 12 月 10・11 日に、「イメージが生まれ、表現される時」をメインテーマとして、第 19 回日本臨床心理身体運動学会大会を筑波大学春日キャンパスにて開催いたしました。参加いただきました会員の皆さまに重ねて感謝申し上げます。

第 2 回大会の主管大学となった筑波大学は、今回が 3 度目でした。この間、つくばの町の変化と同じように、学会大会のプログラムも充実してまいりました。今回は特に、実行委員会のメンバーの多くが体育スポーツ関係者であったことから、シンポジウムならびにラウンドテーブル・ディスカッション（RTD）では、スポーツ色を出させていただきました。前者では、舞踊家の平山素子先生（筑波大学）より、高いレベルでの多様な経験に基づいた話題提供をいただき、その後、学会員が指定討論者となり、“イメージ・創造・表現”をキーワードとして様々な方向に話題を広げそして深めることができました。また、RTD では、会員の武田氏や秋葉氏よりアスリートの心理臨床経験から、“こころとからだ”や“語りの持つ特徴・意味”について話題提供をいただき、フロアーとともに意見交換を行いました。

実は、今回の学会大会抄録集の表紙の作成では、本学の芸術専攻の方々からの協力がありました。表紙を飾った作品「鳥のように」の制作者は言うまでもなく、専門の写真撮影者、ビジュアルアートを専攻する大学院学生、さらには大会テーマのイメージに相応しい作品の決定そして表紙の完成までに関わった方のコラボを実現していただいた先生。こうした様々な専門性を活かした共同作業は、他にはない臨床系の異色な私たちの学会活動や今回の大会を無事に終え、次の常葉大学での 20 回記念大会へとバトンタッチを可能にしたことにも重なるようです。

最後に、多くの会員の参加により、次期学会大会が実り多いものとなることを祈念いたします。

事例研究発表を体験して

大畑 美喜子（川辺やすらぎクリニック）

2016年、筑波大学で開催されました本学会第19回大会に参加致しました。そこで私は第一日目の事例研究発表にて「パニック障害と診断された20代女性の事例」を発表する機会を頂きました。学会での発表は、私がまだ大学院在学中であった2009年に、九州共立大学で開催された際、一般研究発表にて事例を発表して以来の7年ぶりでした。前回の発表では、1時間半があつという間に過ぎ、初めて大学院以外で発表できたことで、どこか満足してしまっていたことが印象に残っています。また、発表後に、ある先生から事例へのご意見をいただき、それに対して「私、なにかと恰好つけてしまうんですよ」と答え、これが次の私の課題の一つだなどと思いながら帰路についたことを鮮明に記憶しています。

さて、今回の発表は、臨床心理士となって5年が経過し、初めての資格更新を終え、ひとつの節目に何か成長のきっかけとなるようなことをしたいと考え挑戦致しました。その貴重な経験を経て反省したことのひとつは、あれほどカウンセラーとクライアントとの関係性が重要だと学んできたにも関わらず、発表の記録からはそれがわかりにくかったことでした。私の中にどこか「事例検討なのだから、クライアントさんの語られたことが大事」ということをことさら優先してきたのかもしれない。しかしそうではなく、カウンセラーがどのような関わりをして、クライアントが変化したのか、そのことを検討できる場にしなければならなかったのだということをどこかに置いてきてしまっていました。とはいうものの、その場でフロアの先生方が納得いくよう、私がきちんと適切な言葉にして説明すればよいのですが、頭の中に漠然とした考えはあっても、それを言葉にして答えることができませんでした。ということは、結局は記述の問題というわけではなく、まだまだその力がないだけである、何となくカウンセラーとしてやれているという心持ちになっていた驕りを今回は痛いほど思い知らされました。そのような拙い発表中、意気消沈しかけそうになっている私に、温かいコメントをくださったりサポートしてくださった、座長の高橋幸治先生、指定討論者の名取琢自先生と廣瀬幸市先生、そしてフロアの先生方には心から感謝いたします。次回は少しでも成長した発表をお聴かせできるようにしたいと思います。

その後、私の事例発表を聴いてくださった方で、若い頃の私を知る何人かの方から「もっと大畑さんらしさを出したらいいのに」と声をかけていただけることが度々あり、『私らしさとはなんぞや?』ということを考えるのですが、果たして以前の私からは何を失ってきたのか、何が違うのか、自分らしさとは…? いったいそのことに気づく日が来るものなのでしょうか。どうやらこれが今後の私の大きな課題となるようです。

一般研究発表で事例を発表して

前田 章（愛知学院大学学生相談センター）

2016年12月10日（土）・11日（日）の2日間、本学会第19回大会「イメージが生まれ、表現されるとき」が筑波大学春日キャンパスにて開催されました。広大な研究施設と実物大のH-IIロケットの見える風景に胸をふるわせて、会場へ到着しました。

私は一般研究発表で遊戯療法の事例を発表させていただきました。今回の事例は駆け出しの頃のもので、砂、水、すべり台など身体感覚を刺激する遊びや、家族のイメージが展開されるなかで、途中から個別から集団へと治療構造が変わるという大きな節目があったものでした。自分が予測できなかった出来事が生じており、いつか事例を見直したいという気持ちとともに、自分の態度に落ち度があったのではないかという不安もありました。

指定討論者の岸本寛史先生には、治療のなかで偶然に生じた出来事について、「その場で生じてくる出来事を、治療的に作用するような流れを作れるか」ということが治療者には大切であるとお話いただきました。さらにフロアにおられた山中康裕先生は、クライアントが家族のなかで体験した出来事と治療の変化とが一致していることを、黒板にジェノグラムを描いて示してくださいました。これまで考えもしなかつたご指摘をいただき、心理療法の場で生じることの不思議さや、布置を読むことの大切さを改めて学ぶことができました。またフロアの先生方にも沢山の質問や温かいご感想をいただき、とても贅沢な学会発表になりました。

後日談になりますが、学会のあと山へ登りました。山頂から下りのケーブルカーに乗り、長いトンネルを潜っている最中に、母の産道から出てくるようなイメージが生じる出来事がありました。そのとき、発表事例のなかの、赤ちゃんを抱いて、何度もすべり台をすべるとい遊びに通じるものを感じ、クライアントがこの世界を懸命に生きようとする姿に思い至りました。今回の学会で発表する機会がなければ、こうしたイメージに思いを馳せることもなかつたかもしれません。今後さらに検討を加えていきたいと思った次第です。

最後に、大会を準備して下さった実行委員長の中込四郎先生、そして暖かく熱心に迎えて下さったスタッフの皆さまに、心からお礼申し上げます。ありがとうございました。

平成 27 年度 事業報告

【学会大会】

- ・第 18 回大会 平成 27 年 12 月 12 日（土）、13 日（日） 大阪府立大学中百舌鳥キャンパス

【学会誌 臨床心理身体運動学研究】

- ・第 18 巻第 1 号 平成 28 年 3 月 31 日発行

【会報 SPACE】

- ・No.33 平成 28 年 2 月 22 日発行

【学会研修会】

- ・第 52 回 平成 27 年 7 月 12 日（日） 筑波大学東京キャンパス文京校舎（東京都文京区）
- ・第 53 回 平成 27 年 10 月 4 日（日） 創元社ビル（大阪府大阪市）
- ・第 54 回 平成 28 年 3 月 20 日（日） 創元社ビル（大阪府大阪市）

【認定スポーツカウンセラー資格講習会】

- ・第 23 回 平成 27 年 7 月 12 日（日） 筑波大学東京キャンパス文京校舎（東京都文京区）
- ・第 24 回 平成 27 年 10 月 3 日（土）、4 日（日） 創元社ビル（大阪府大阪市）
- ・第 25 回 平成 28 年 3 月 20 日（日） 創元社ビル（大阪府大阪市）

【常任理事会】

- ・第 1 回 平成 27 年 7 月 12 日（日） 筑波大学東京キャンパス文京校舎（東京都文京区）
- ・第 2 回 平成 27 年 10 月 4 日（日） 創元社ビル（大阪府大阪市）
- ・第 3 回 平成 27 年 12 月 11 日（金） ホテル・アゴーラリージェンシー堺（大阪府堺市）
- ・第 4 回 平成 28 年 3 月 20 日（日） 創元社ビル（大阪府大阪市）

【理事会】

- ・平成 27 年度理事会 平成 27 年 12 月 12 日（土）大阪府立大学中百舌鳥キャンパス（大阪府堺市）

【総会】

- ・平成 27 年度総会 平成 27 年 12 月 13 日（日）大阪府立大学中百舌鳥キャンパス（大阪府堺市）

平成 28 年度 事業計画

【学会大会】

- ・ 第 19 回大会 平成 28 年 12 月 10 日（土）、11 日（日） 筑波大学春日キャンパス

【学会誌 臨床心理身体運動学研究】

- ・ 第 19 巻第 1 号 平成 29 年 3 月 31 日発刊予定

【会報 SPACE】

- ・ No.34、No.35 発行予定

【学会研修会】

- ・ 第 55 回 平成 28 年 6 月 5 日（日） 浜松市子育て情報センター研修室（静岡県浜松市）
- ・ 第 56 回 平成 28 年 9 月 11 日（日） 創元社ビル（大阪府大阪市）
- ・ 第 57 回 平成 29 年 3 月 19 日（日） 創元社ビル（大阪府大阪市）

【認定スポーツカウンセラー資格講習会】

- ・ 第 26 回 平成 28 年 6 月 5 日（日） 浜松市子育て情報センター研修室（静岡県浜松市）
- ・ 第 27 回 平成 28 年 9 月 11 日（日） 創元社ビル（大阪府大阪市）
- ・ 第 28 回 平成 29 年 3 月 19 日（日） 創元社ビル（大阪府大阪市）

【常任理事会】

- ・ 第 1 回 平成 28 年 6 月 5 日（日） 浜松市子育て情報センター研修室（静岡県浜松市）
- ・ 第 2 回 平成 28 年 9 月 11 日（日） 創元社ビル（大阪府大阪市）
- ・ 第 3 回 平成 28 年 12 月 9 日（金） スパニッシュイタリアン&バル インカローズ（茨城県つくば市）
- ・ 第 4 回 平成 29 年 3 月 19 日（日） 創元社ビル（大阪府大阪市）

【理事会】

- ・ 平成 28 年度理事会 平成 28 年 12 月 10 日（土） 筑波大学春日キャンパス（茨城県つくば市）

【総会】

- ・ 平成 28 年度総会 平成 28 年 12 月 11 日（日） 筑波大学春日キャンパス（茨城県つくば市）

日本臨床心理身体運動学会 平成 27 年度決算報告書

(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

<収入の部>

費 目	平成 27 年度 予算	平成 27 年度 決算
入会金	200,000	140,000
年会費	1,689,000	1,749,000
会費収入小計	1,889,000	1,889,000
研修会参加費	480,000	295,000
懇親会参加費	0	55,000
研修会参加費収入小計	480,000	350,000
講習会参加費	500,000	399,000
審査料(新規・移行)	30,000	10,000
登録料(新規・更新・移行)	110,000	40,000
課程認定	52,000	52,000
課程認定料	200,000	300,000
受取利息	0	905
資格認定費収入小計	892,000	801,905
紀要購読料	10,000	9,440
バックナンバー売上	10,000	0
出版事業収入小計	20,000	9,440
雑収入	10,000	100,324
その他収入小計	10,000	100,324
収入の部 小計	3,291,000	3,150,669
前年度より繰越	4,784,820	4,784,820
収入の部 合計	8,075,820	7,935,489

<支出の部>

費 目	平成 27 年度 予算	平成 27 年度 決算
会報(SPACE)製作費	10,000	0
紀要製作費	600,000	649,100
紀要発送費	22,000	25,897
編集局業務委託費	475,200	475,200
通信費	10,000	12,600
学会誌・編集委員会小計	1,117,200	1,162,797
大会援助金	200,000	200,000
会場費	60,000	57,164
指定討論者謝礼	240,000	240,000
雑費	14,000	57,098
研修委員会小計	314,000	354,262
講師謝礼	160,000	160,000
通信費	10,000	1,568
資格認定費(カード代)	25,000	15,660
雑費	10,000	0
資格認定委員会小計	205,000	177,228
通信費	100,000	99,464
印刷費	25,000	1,000
備品・消耗品費	20,000	26,870
会議費	90,000	82,000
交通・宿泊費	100,000	116,560
倉庫代	38,880	38,880
慶弔費	35,000	0
事務局業務委託費	698,075	698,075
雑費	10,000	6,633
事務局小計	1,116,955	1,069,482
ホームページ維持費	7,000	0
委員会運営費	20,000	0
学会積立金	300,000	300,000
雑損失	0	0
予備費	10,000	0
支出の部 小計	3,290,155	3,263,769
次年度へ繰越	4,785,665	4,671,720
支出の部 合計	8,075,820	7,935,489

監査報告

平成 27 年度(平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで)の会計監査を行った結果、次のとおりご報告いたします。当期の経理状況および用途を正當に示すものであり、適正に処理されていることを認めます。

監査報告

平成27年度(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)の会計監査を行った結果、次のとおりご報告いたします。当期の経理状況および用途を正當に示すものであり、適正に処理されていることを認めます。

平成 28 年 7 月 13 日

監事 吉村 功 

監事 木村 ひとみ 

日本臨床心理身体運動学会 平成 28 年度予算
(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

＜収入の部＞

費 目	平成 27 年度 決算	平成 28 年度 予算
入会金	140,000	200,000
年会費	1,749,000	1,784,000
会費収入小計	1,889,000	1,984,000
研修会参加費	295,000	480,000
懇親会参加費	55,000	0
研修会参加費収入小計	350,000	480,000
講習会参加費	399,000	480,000
審査料(新規・移行)	10,000	30,000
登録料(新規・更新・移行)	40,000	90,000
課程認定	52,000	0
課程認定料	300,000	200,000
受取利息	905	0
資格認定費収入小計	801,905	800,000
紀要購読料	9,440	9,440
バックナンバー売上	0	10,000
出版事業収入小計	9,440	19,440
雑収入	100,324	10,000
その他収入小計	100,324	10,000
収入の部 小計	3,150,669	3,293,440
前年度より繰越	4,784,820	4,671,720
収入の部 合計	7,935,489	7,965,160

＜支出の部＞

費 目	平成 27 年度 決算	平成 28 年度 予算
会報(SPACE)製作費	0	10,000
紀要製作費	649,100	600,000
紀要発送費	25,897	25,000
編集局業務委託費	475,200	475,200
通信費	12,600	15,000
学会誌・編集委員会小計	1,162,797	1,125,200
大会援助金	200,000	200,000
会場費	57,164	60,000
指定討論者謝礼	240,000	240,000
雑費	57,098	15,000
研修委員会小計	354,262	315,000
講師謝礼	160,000	160,000
通信費	1,568	10,000
資格認定費(カード代)	15,660	20,000
雑費	0	10,000
資格認定委員会小計	177,228	200,000
通信費	99,464	100,000
印刷費	1,000	10,000
備品・消耗品費	26,870	25,000
会議費	82,000	90,000
交通・宿泊費	116,560	100,000
倉庫代	38,880	38,880
慶弔費	0	35,000
事務局業務委託費	698,075	698,075
雑費	6,633	10,000
事務局小計	1,069,482	1,106,955
ホームページ維持費	0	7,000
委員会運営費	0	20,000
学会積立金	300,000	300,000
雑損失	0	0
予備費	0	10,000
支出の部 小計	3,263,769	3,284,155
次年度へ繰越	4,671,720	4,681,005
支出の部 合計	7,935,489	7,965,160

事務局より

○年会費納入のお願い

年会費を未納の方は、至急下記口座に入金してください。また、納入状況につきましては、事務局までお問い合わせください。

正会員 10,000 円 一般会員 9,000 円 準会員 7,000 円

<振込先>

送金口座

ゆうちょ銀行

1 4 4 6 0 - 2 9 2 3 1 2 1 1

日本臨床心理身体運動学会

銀行対応

店 名：四四八（よんよんはち）

店 番：4 4 8

預金種目：普通預金

口座番号：2 9 2 3 1 2 1

○年会費自動払込の手続きについて

年会費の自動払込手続きは、学会総会における決議事項であり、全会員にお願いしています。手続き未完了の方は自動払込利用申込書をご提出ください。申込書をお持ちでない方は、事務局までご連絡ください。

○住所・所属等の変更連絡のお願い

住所や所属等に変更があった場合は、速やかに事務局までご連絡ください。

○メールアドレス登録のお願い

事務局よりご連絡を差し上げる際に使用いたしますので、メールアドレスのご登録がお済みでない方は、下記事務局アドレスまでご連絡ください。

○退会申請について

退会をご希望の方は、年会費を完納した上で該当年度の **3月31日まで** に書面の退会届（**署名・捺印要**）を事務局宛にご郵送ください。3月末以降の申請となった場合、翌年度末退会となりますのであらかじめご了承ください。※退会届の様式は自由です。

例)

平成 30 年 3 月 31 日までに退会届を郵送→平成 29 年度末退会

平成 30 年 3 月 31 日以降に退会届を郵送→平成 30 年度末退会

○連絡先

日本臨床心理身体運動学会事務局

〒541-0047 大阪府中央区淡路町 4-3-6 新元社内

TEL：06-6221-2600

FAX：06-6221-2611

E-mail：office@rinsinsin.jp

編集後記

第19回大会のテーマは、「イメージが生まれ、表現されるとき」であった。本学会の本質がそこにあるような気がする。イメージとは、考えることではもちろんないし、思うことでもなく、感じることでもない。観えるものである。そして、このイメージこそが人間の能力の最大のものであり、人間の可能性を現実のものとしてきたのである。イメージをどう扱うか、今回の大会で私が改めて得た課題である。会員の皆様はどうお考えでしょうか。

(前林)

SPACE No. 34

日本臨床心理身体運動学会 会報第 34 号

2017 年 10 月 17 日発行

日本臨床心理身体運動学会

会 長 山中康裕

編集責任 前林清和

事務局 〒541-0047

大阪市中央区淡路町 4-3-6 (有) 新元社内

TEL : 06-6221-2600

FAX : 06-6221-2611

E-mail : office@rinsinsin.jp